

1 平成 11 年 2 月 13 日 長野県和算研究会設立総会

13:30～15:50 於長野南高等学校会議室

(1) 式次第 (敬称略)

- ①開会の挨拶 (大室昂)
- ②経過報告 (野村恵智雄)
- ③設立発起人代表挨拶 (赤羽千鶴)
- ④総会 ア 会則審議
イ 役員選出
ウ 顧問紹介、役員自己紹介、
エ 会長挨拶
オ 来賓祝辞 (長野南高等学校長 藤本光世先生)
祝電披露 (・日本数学史学会・群馬和算研究会)
カ 平成 11 年度事業計画
 - ・研究会と総会、会報発行、関東甲信越静長野大会
 - ・会費納入と寄稿依頼
- ⑤記念講演:『善光寺の算額』 野村恵智雄 先生
- ⑥会員発表:下伊那の算額について 伊藤 栄一 先生
- ⑦記念写真撮影

- ◆ 展示品:県内現存算額写真 (黒岩和男氏)
:高源寺観音堂復元奉納算額下書 (小林博隆氏)

(2) 覚書

- ・祝電は上記の他、長野県立歴史館 青木歳幸氏よりいただいた。
- ・長野南高等学校長藤本光世氏より、御祝儀をいただいた。
- ・当日参加者 会員 20 名、一般 5 名、
報道機関 2 社 (信濃毎日新聞社、長野市民新聞社)

2 平成 11 年 4 月 11 日 芋井葛山落合神社の算額の再発見

以前、野村恵智雄先生が発見され、ご連絡を受け、野村・宮本・大室・北原・小林の諸氏により現存が再確認された。算額は神社の床下にあり、残念ながら腐食が進み原文はほとんど読み取れない状態である。算額保存の難しさを改めて感じた。

3 平成11年4月16日 清野高源寺観音堂に復元算額の奉納

- (1) 3/23 長野市民新聞が『江戸時代の算額 200年ぶり復元』を報道。
- (2) 3/25 松代町有線放送協会が『高源寺観音堂の復元算額について』を放送。
- (3) 3/28 復元記念講演会が開催される。

(主催：松代史跡文化財開発委員会、清野条例公民館)

講演①『松代の和算と高源寺観音堂』 野村恵智雄氏

②『県内奉納算額と復元算額の解説』 小林 博隆氏

◆事務局にも講演資料あります

4 平成11年4月28日 会報（創刊号）発刊

5 平成11年5月22日 『消えた日本の高度な数学に挑む』放映

NHK長野放送局より放送される。中村信弥先生を中心に取り組んでいる長野県現存算額の解説の様子が紹介された。

◆事務局に収録ビデオがあります。

6 平成11年7月23日 会報（第2号）発刊

7 平成11年9月 『長野県の現存算額と教材化の試み』研究発表

関東都県（長野県数学会の上部団体）山梨大会において、北原勲氏

- ・須坂市塩川公会堂 ・木島平村水穂神社其1
- ・軽井沢町熊野神社 ・山ノ内町渋薬師堂のうち4問題を教材化。

◆事務局にも発表資料あります

8 平成11年9月11、12日 関東甲信越静和算研究大会の開催

- (1) 2/13 和算研究会設立総会終了後、打ち合わせ会①
 - ・準備事項と役割分担の概要打ち合わせ
- (2) 3/末 和算研究会と鬼無里村関係者で打ち合わせ会②（上水内教育会館）
 - ・準備事項と役割分担決定
- (3) 6/5 大会のご案内発送
発送先
 - ・日本珠算史研究学会（162 部）
 - ・各都県和算研究会事務局（東京 20、神奈川 20、群馬 20、山梨 10、新潟 5、福井 5、大阪 20、兵庫 5）
 - ・長野県和算研究会会員（29名）

- ・その他の個人宛（６名）
- (4) 7／15 参加申し込み締め切り
県外参加者２１名、県内参加者１９名、他鬼無里村参加者
- (5) 7／24 大会実行委員会打ち合わせ会③（鬼無里公民館）
和算研究会と鬼無里村関係者
 - ・大会要項（案）を元に
 - （１）全体会、（２）各係打ち合わせ、（３）全体会にて報告
 - ・視察、宿泊場所の下見
- (6) 7／30 参加申し込み者に大会要項発送
- (7) 8／20 大会実行委員会打ち合わせ会④（鬼無里寮）
- (8) 9／11・12 第６回関東甲信越静和算研究大会 長野・鬼無里大会
全国から和算研究者４１名と地元鬼無里村から約１００名が参加。

ア 内容 開会行事、交流会の他

- (1) 視察見学：①民俗資料館特別展（鬼無里村最上流和算家寺島宗伴）
 - ②松巖寺奉納算額、葛山落合神社奉納算額
 - ③寺島宗伴の五輪塔、算子塚

(2) 研究発表

- ・講演『寺島宗伴先生について』【鬼無里村松巖寺住職 清水總明先生】
- ・研究発表
 - 1 『全国和算家名鑑書留』記載の信州の和算家 【群馬 大竹茂雄先生】
 - 2 『塵劫記』『改算記』に於ける枡の寸法と実際の枡の規格 【岩手 柳本浩 先生】
 - 3 内藤家と内藤政樹（藩主和算家）について 【神奈川 加藤芳信先生】
 - 4 今村仁兵衛知商について 【神奈川 川瀬正臣先生】
 - 5 『堅亥録』の落丁と乱丁について 【神奈川 野口泰助先生】
 - 6 松巖寺奉納算題とその現代数学解法 【長野 中村信弥先生】

覚書

- ・横谷桂子氏、小河原樞夫氏より、御祝儀をいただいた。

9 平成１１年１０月３０日 会報第３号（和算研究大会特集号）発刊

10 平成１１年１１月１日 『和算に挑戦』製本

長崎県米光丁氏の資料提供の協力を得て、小林博隆氏作成、高校生向けの和算教材。
題材は、長崎諏訪神社奉納算題・『算法手惹草』（寺島宗伴）・長野県現存奉納算題より。

◆事務局に残部があります。

11 平成11年12月2日『長野県現存算額集大成 算額への招待』発刊

長野県に現存する算額61面の全問題を対象に、現代解法を試みた。また、随所に和算の数理が解説されており、全国的にも初めての試みであり貴重な研究書となっている。著者は、中村信弥ほか、伊藤、大谷、北原、小林、田中、野村、宮本、柳沢の9名

12 平成11年12月19日『神々にささげた知のパズル』放映

NHK総合『ズームイン信州』にて放映。上記『算額への招待』の出版を記念した特別番組。◆事務局にも収録ビデオあります

13 平成12年1月14日『算額への招待』信濃毎日新聞にて報道

冊子の問い合わせが続くが、既に完売

14 平成12年1月24日『算額への招待』出版祝賀会

研究会顧問、赤羽千鶴先生をお招きし、松本市「 」にて

● 長野県和算研究会会員による和算関係図書の紹介（第1回）

- ・ 初等和算書の研究 赤羽千鶴 珠算研究社 : 昭和16年
- ・ 郷土の数学者ものがたり 赤羽千鶴 暁教育図書 : 昭和28年
- ・ 長野県の算額 赤羽千鶴、木村喜久雄、中村信弥 大阪書籍 : 昭和39年
- ・ 信濃の和算 赤羽千鶴 信濃教育会出版部 : 昭和58年
- ・ 新長野県の算額 赤羽千鶴、大室昂、関保男、
中村信弥、野村恵智雄、宮本由己雄 非売品 : 昭和60年
- ・ 数学文化史一群馬を中心として一 大竹茂雄 研成社 : 昭和62年
- ・ 幕末の偉大なる数学者 中村信弥、共著 多賀出版 : 平成元年
- ・ どこまで解ける日本の算法 中村義作 講談社ブルーバックス : 平成6年
- ・ 生誕200年のしおり 寺島宗伴先生をたたえる会 非売品 : 平成8年
- ・ 江戸時代の算術 中村信弥 教育書館 : 平成9年
- ・ 幕末に咲いた和算の花 中村信弥 教育書館 : 平成9年
- ・ 続 江戸時代の算術 神津勝、関口哲男、中村信弥 教育書館 : 平成10年
- ・ 増補長野県の算額 赤羽千鶴、大室昂、関保男、
中村信弥、野村恵智雄、宮本由己雄 教育書館 : 平成10年
- ・ 下伊那の和算 北澤武 南信州新聞社 : 平成10年
- ・ 和算に挑戦 長野南高校数学科 非売品 : 平成11年

- ・増補長野県の算額 補遺 赤羽千鶴、大室昂、関保男、
中村信弥、野村恵智雄、宮本由己雄 教育書館 : 平成11年
- ・算額への招待 中村信弥他8名 教育書館 : 平成11年

●論文紹介（第1回）

- 小林 博隆 和算家藤牧弥之助とその周辺 『信濃』長野県史学会
 大竹 茂雄 吉田光由の師について 『和算研究所紀要』NO2
 伊藤 栄一 現代に甦る「算額」の魂 『伊那』1999.9月号:伊那史学会
 北澤 武 亀井算を唱えた吉瀬源兵衛の算術書『新板天元算法利傳記 全』
 『伊那』1999.12月号:伊那史学会